

# 宮城県港湾戦略ビジョン策定委員会

## 第3回委員会資料



平成23年11月24日

社団法人 日本港湾協会

# 目次

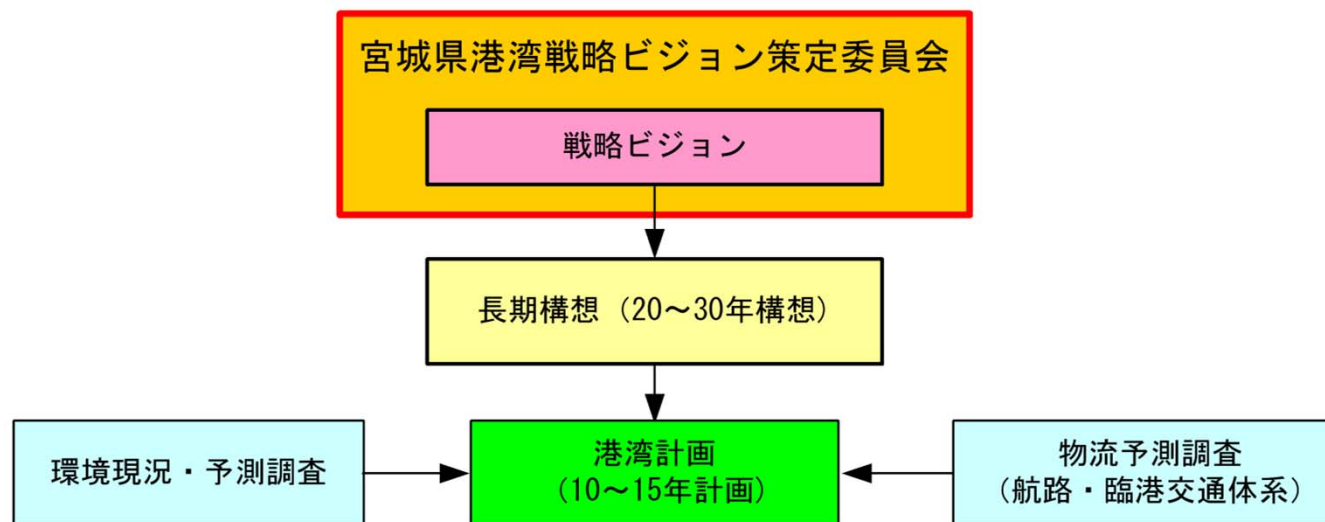
序. 委員会の目的 .....	序-1
◇委員会の目的 .....	序-1
◇委員会の位置づけ .....	序-1
◇戦略ビジョン検討フロー .....	序-2
1. 仙台湾各港の現状 .....	1-1
1. 1 仙台湾各港の概要 .....	1-1
1. 2 各港の利用状況 .....	1-7
1. 3 仙台湾各港のあゆみと港湾計画の経緯 .....	1-15
2. 経済社会環境の動向 .....	2-1
2. 1 我が国の港湾行政の動き .....	2-1
2. 2 東北を取り巻く経済社会の動向 .....	2-5
3. 統合の必要性 .....	3-1
3. 1 仙台湾のポテンシャル .....	3-1
3. 2 統合の背景と仙台湾各港の課題 .....	3-8
3. 3 統合の必要性 .....	3-14
4. 統合港湾の将来ビジョン .....	4-1
4. 1 統合の目標と方針 .....	4-1
4. 2 統合港湾の将来ビジョン .....	4-2
4. 3 統合港湾の役割分担 .....	4-2
5. 統合港湾の戦略と施策の具体 .....	5-1
5. 1 統合港湾の戦略 .....	5-1
5. 2 統合港湾の戦略の5本柱 .....	5-2
5. 3 戦略を実現するための施策の具体 .....	5-11

# 序. 委員会の目的

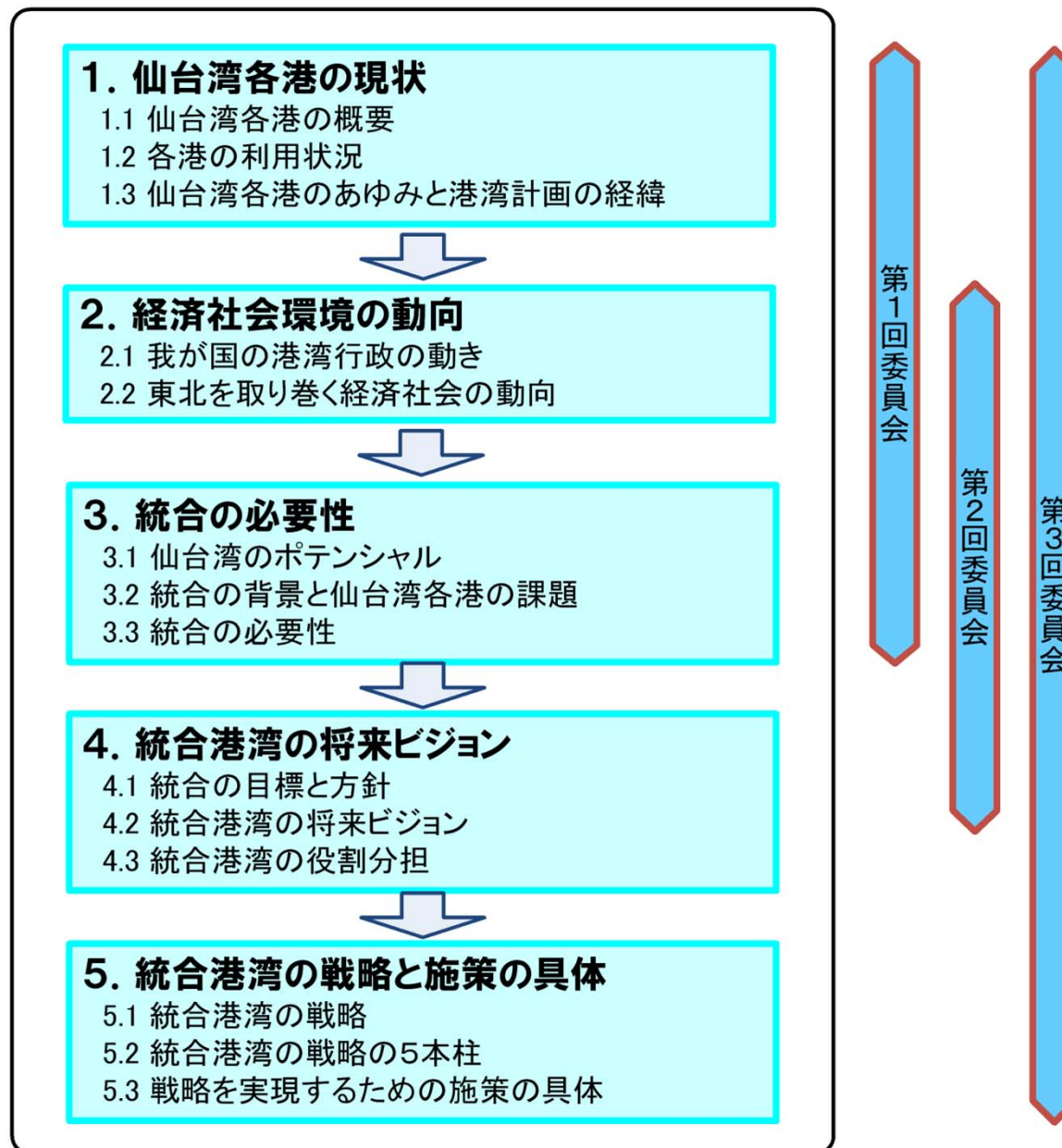
## ◆委員会の目的

本委員会は、仙台湾内に位置する仙台塩釜港、石巻港、松島港（以下、統合港湾という）を対象とし、近年の経済社会及び港湾行政の動向を踏まえて、統合港湾が宮城県はもとより東北地方の産業及び生活基盤として、地域経済の活力維持や暮らしの安定に貢献していくため、3港が一体となった統合港湾の将来ビジョンとその実現に向けた戦略について検討するものである。

## ◆委員会の位置づけ



# ◆戦略ビジョン検討フロー



# 1. 仙台湾各港の現状

## 1.1 仙台湾各港の概要

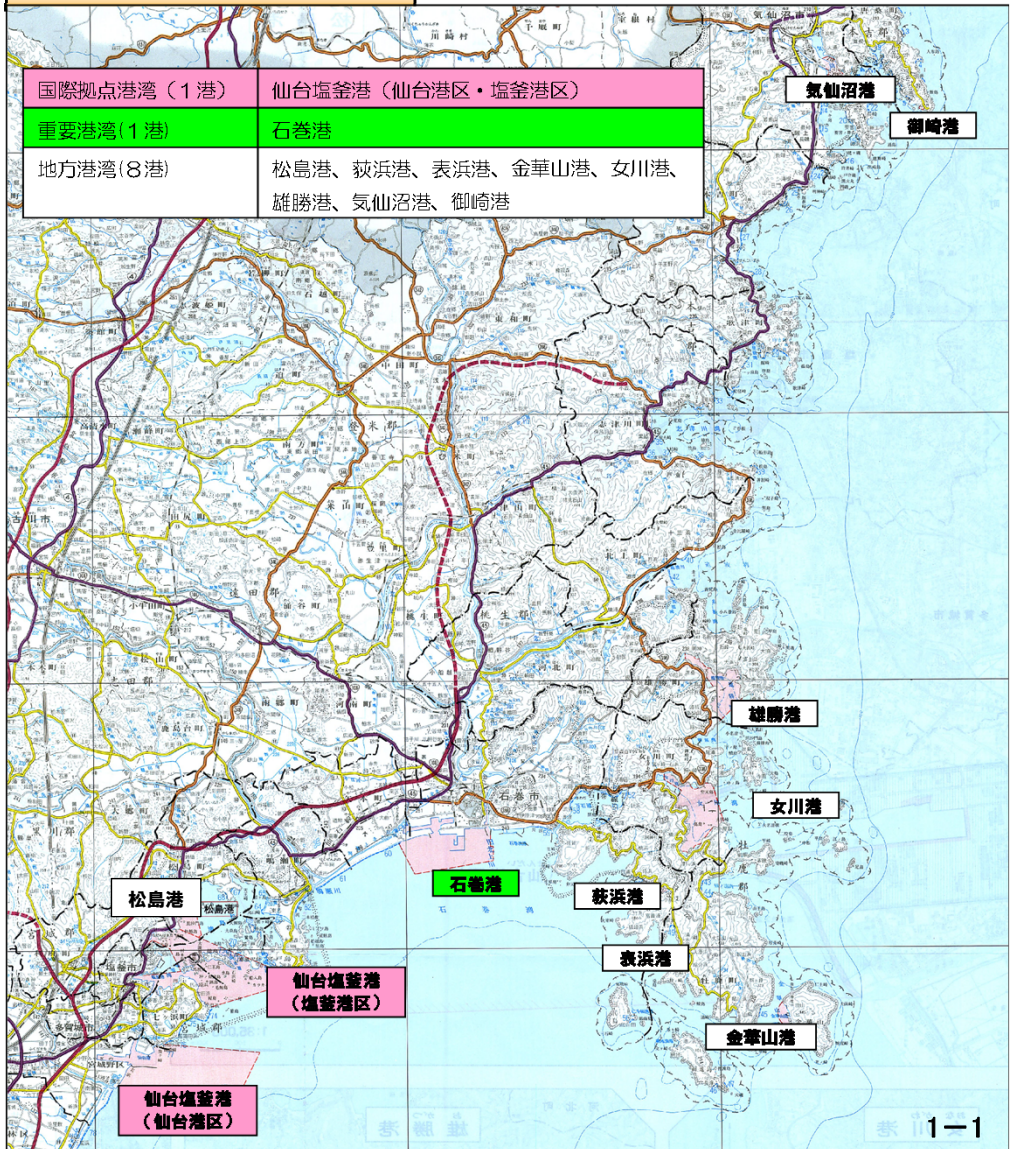
### (1) 宮城県港湾の位置

- 宮城県内には、国際拠点港湾1港、重要港湾1港、地方港湾8港、計10港が整備されている。
- 道路での走行時間40分、海上距離では直線で約10kmの至近に仙台塩釜港、松島港、石巻港の3港が存在する。

#### 仙台湾内港湾の位置



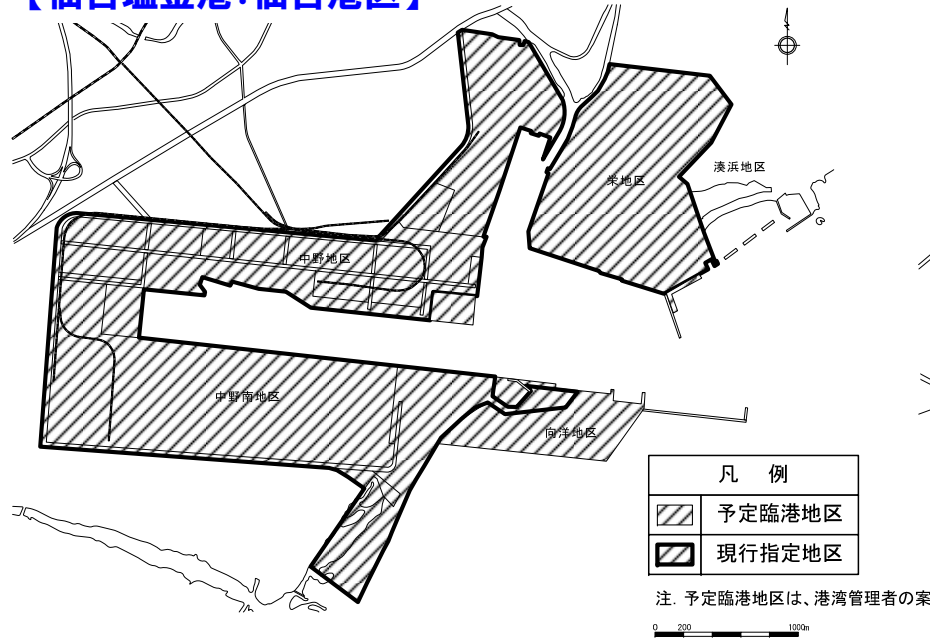
#### 宮城県港湾の位置



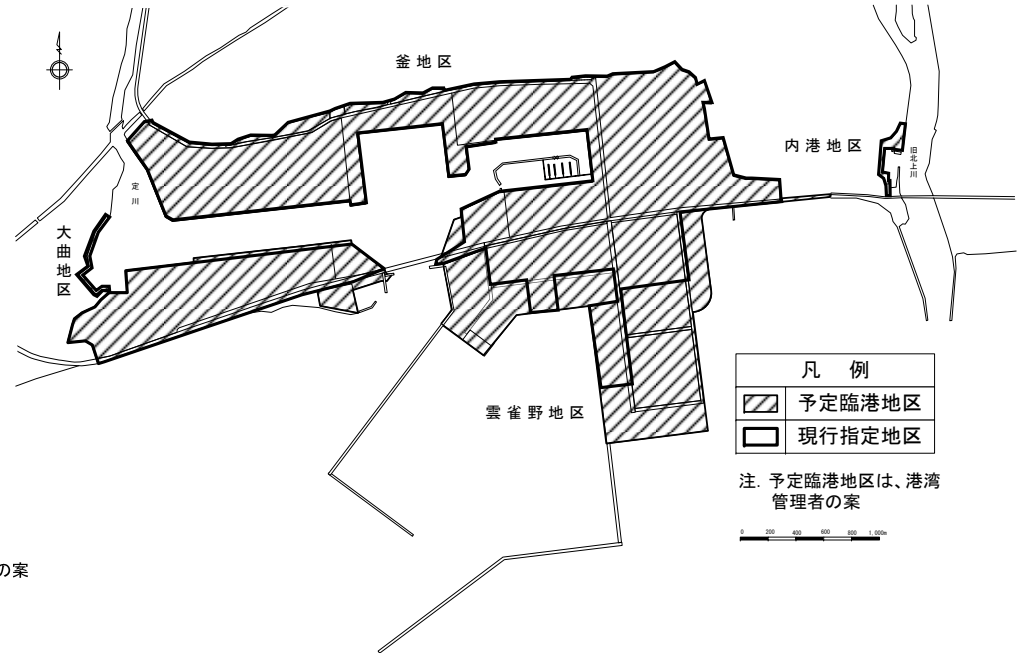
## (2)臨港地区及び港湾区域の指定状況

### 臨港地区の指定状況

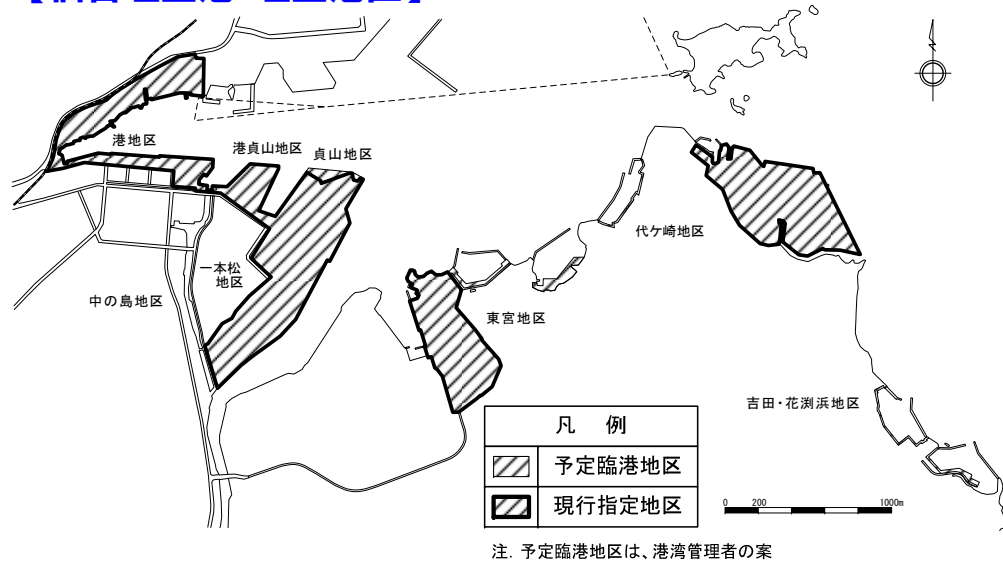
#### 【仙台塩釜港:仙台港区】



#### 【石巻港】

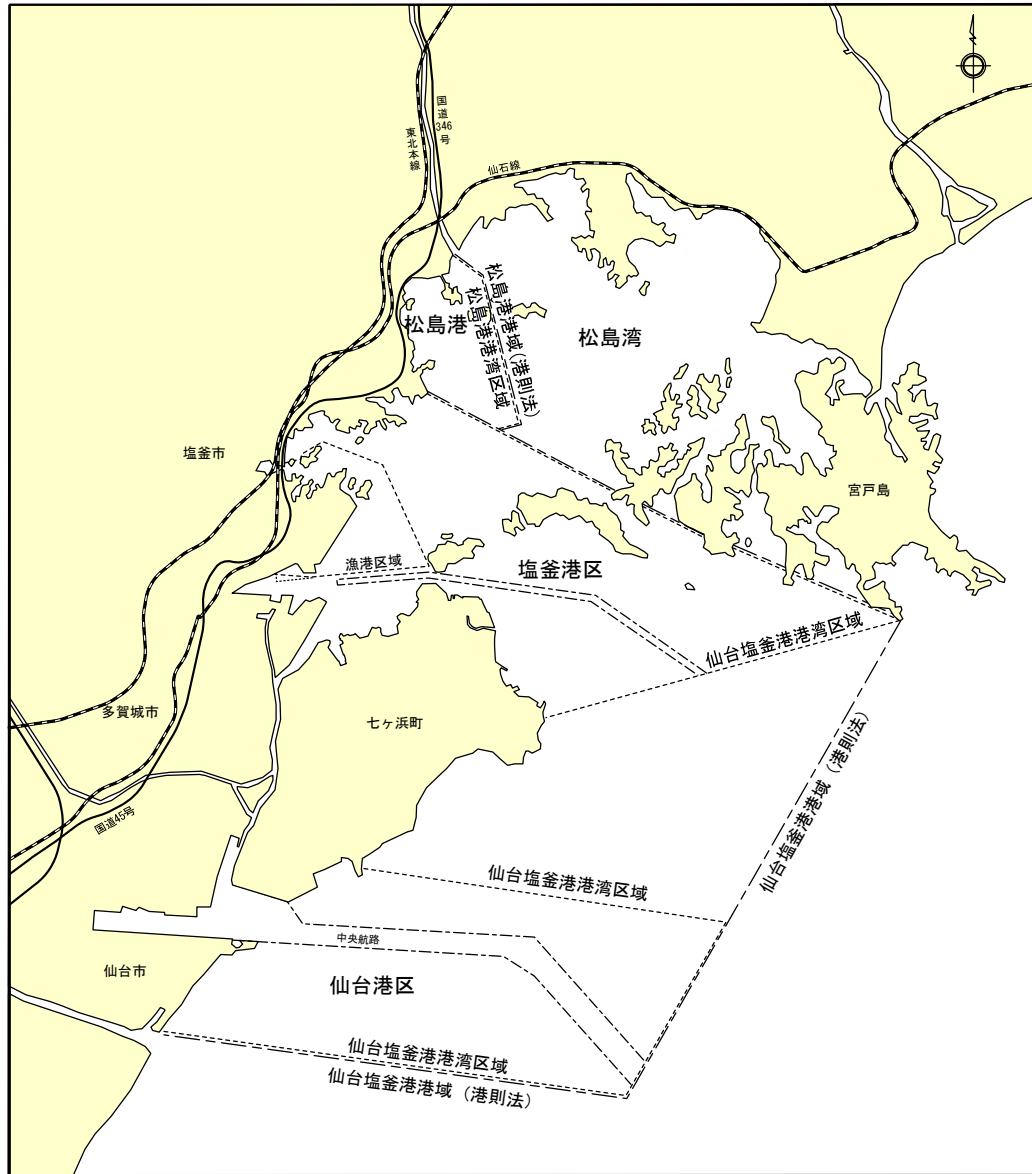


#### 【仙台塩釜港:塩釜港区】

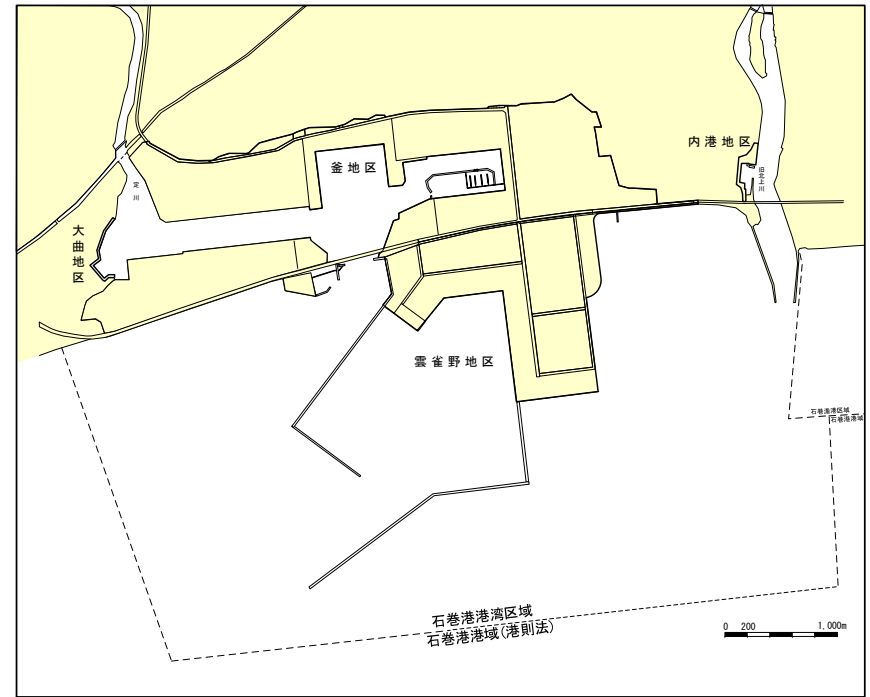


# 港湾区域の指定状況

## 【仙台塩釜港及び松島港】



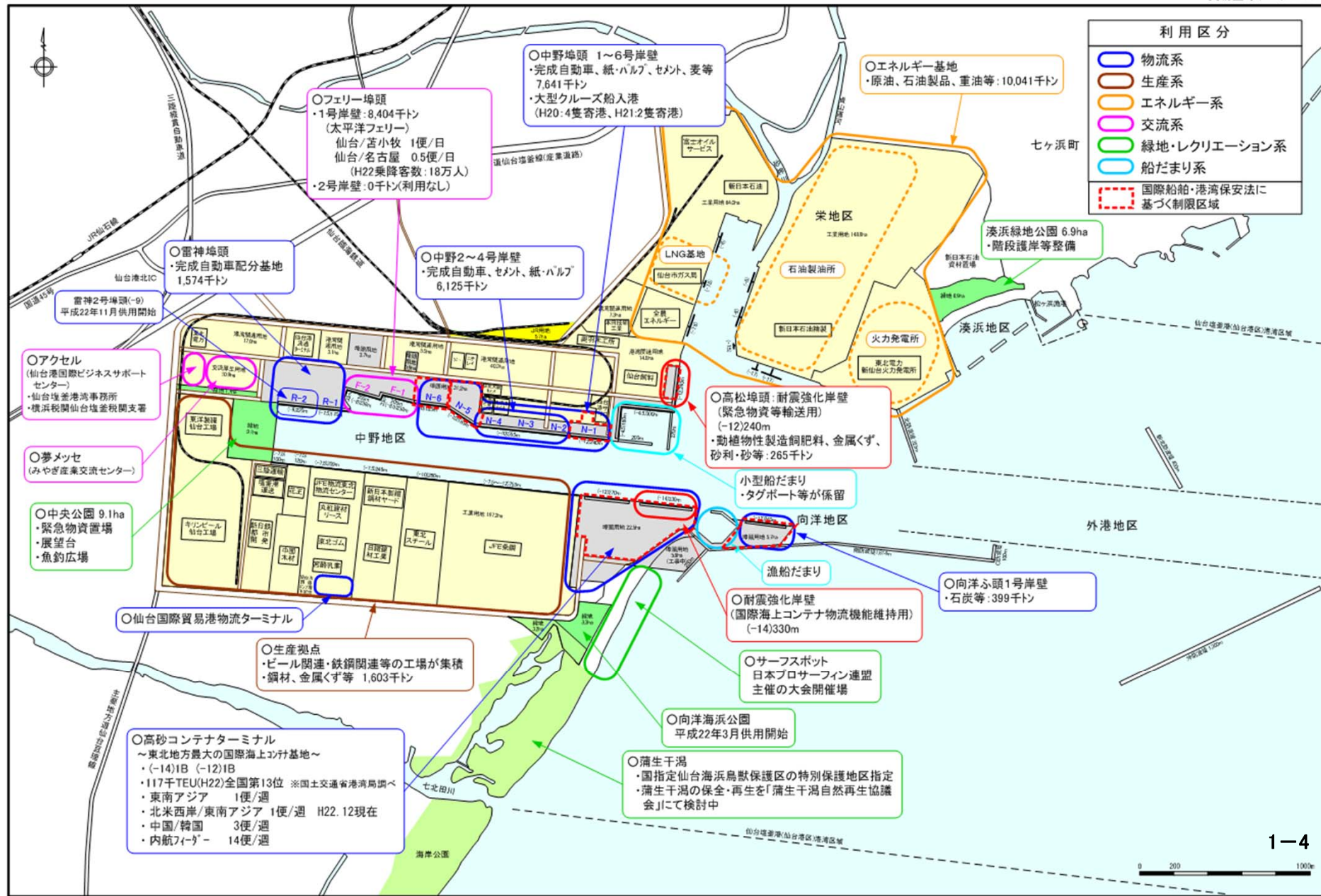
## 【石巻港】



# (3)空間利用状況

## 【仙台塩釜港：仙台港区】

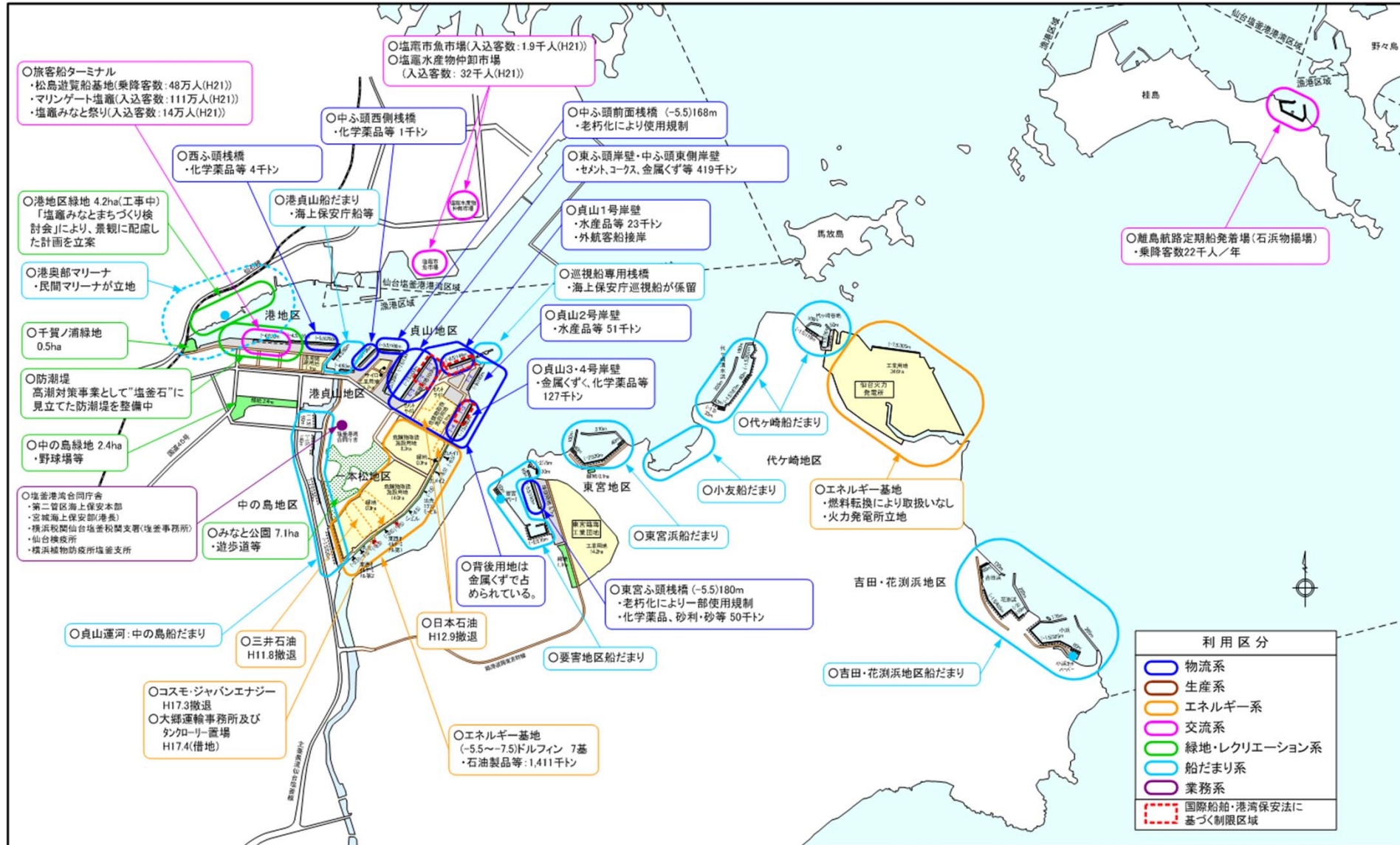
貨物量等データ：H22





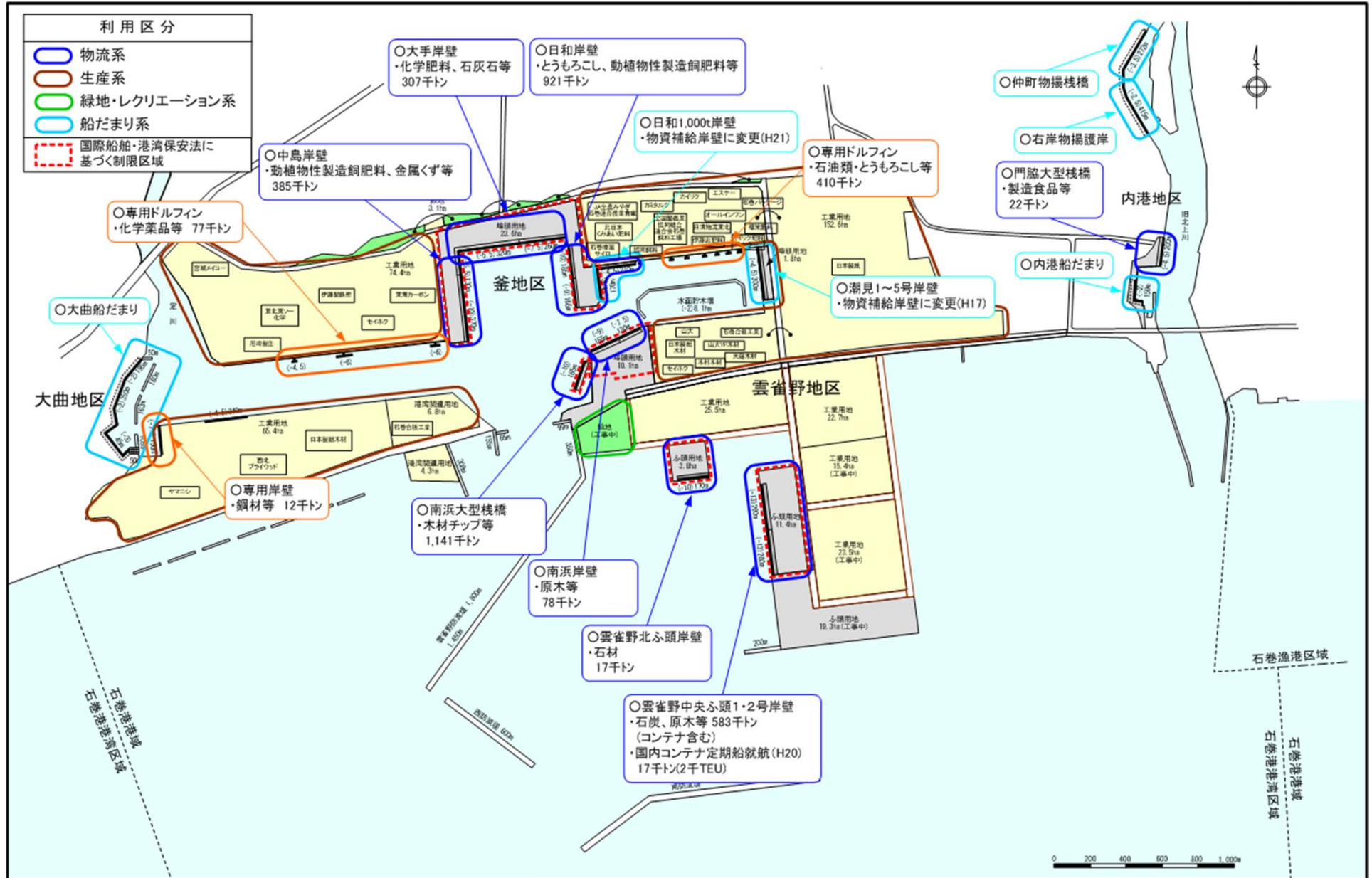
# 【仙台塩釜港:塩釜港区】

貨物量等データ: H22



# 【石巻港】

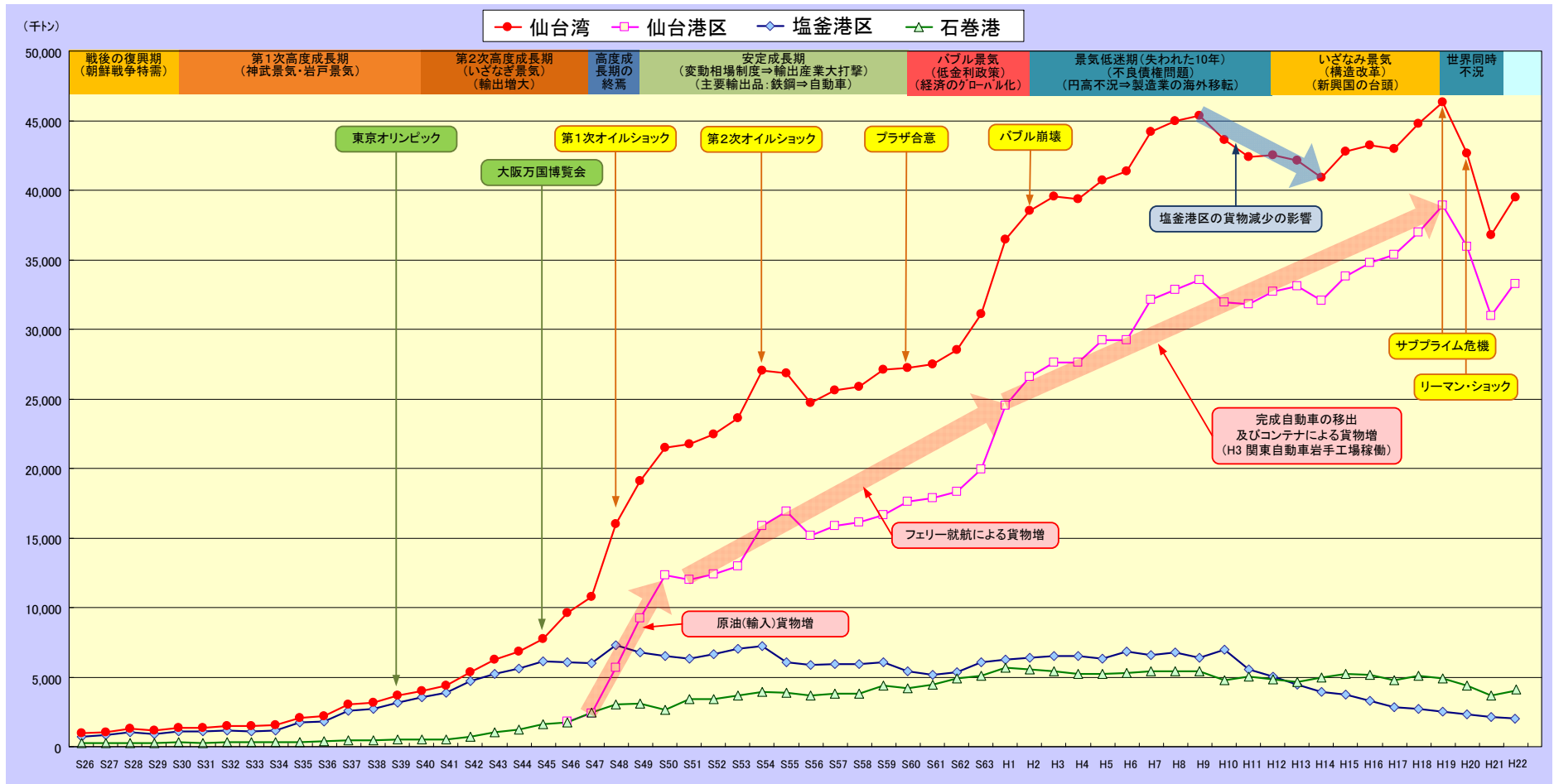
貨物量等データ:H22



# 1.2 各港の利用状況

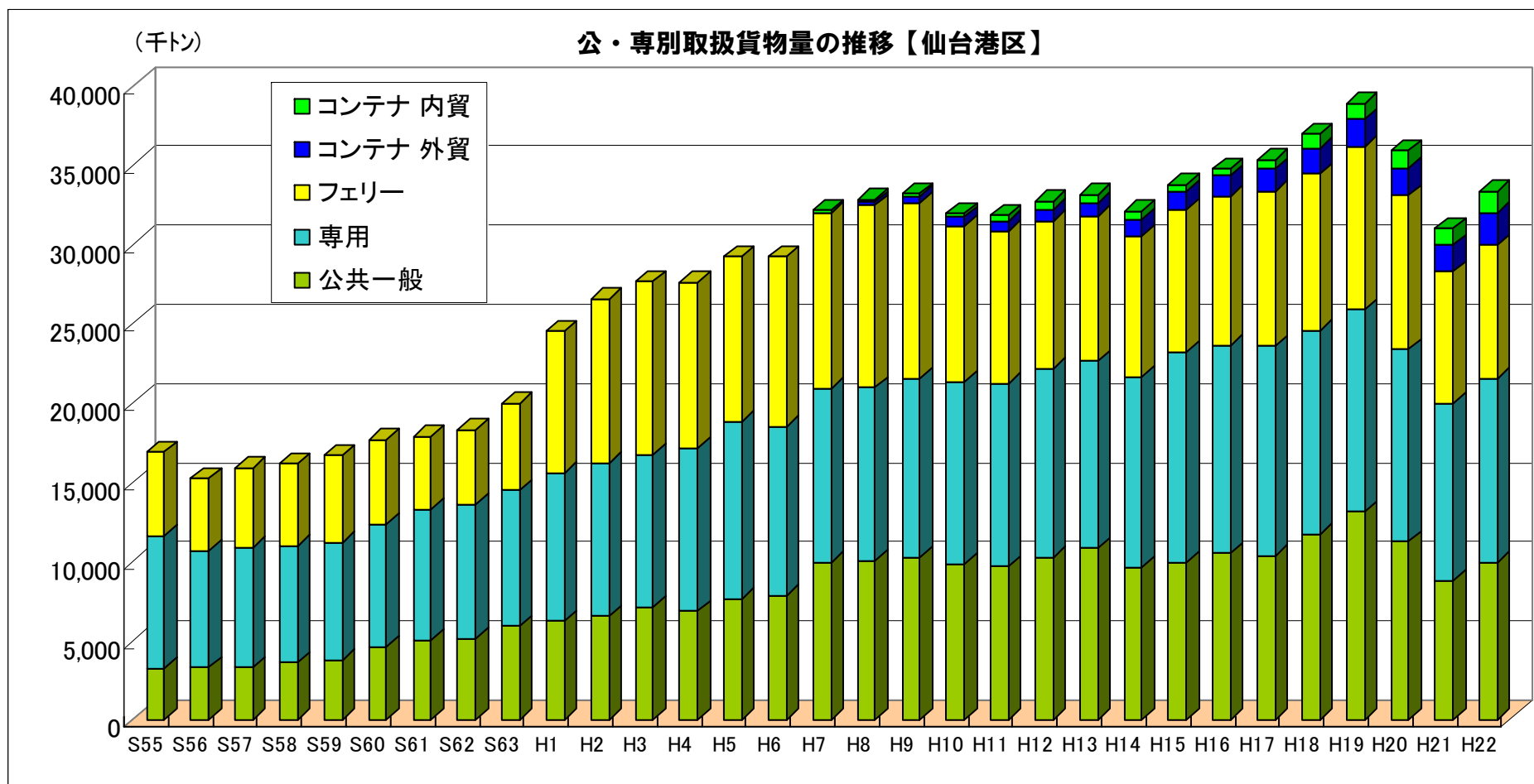
## (1)各港の利用動向

仙台湾内港湾（仙台塩釜港・石巻港）取扱貨物量動向

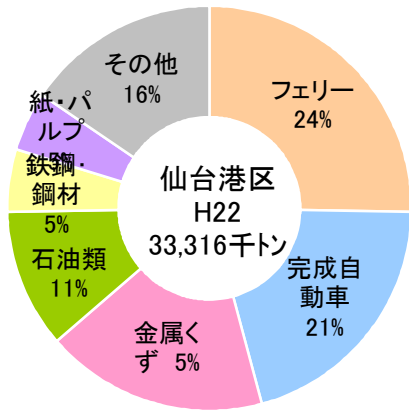


## ◆仙台塩釜港：仙台港区

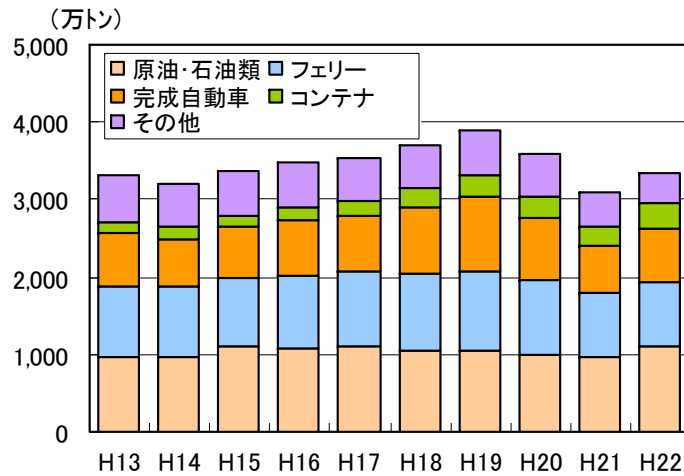
- 取扱貨物量は順調に増加し、平成19年に過去最高の3,890万トンを取り扱うも、その後減少したが、平成22年は3330万トンまで回復している。
- 主要品目はフェリー・完成自動車・石油類で、全体の約7割以上を占めている。
- 背後圏の自動車関連企業が増産を開始した影響で、完成自動車の取扱量は急激に伸びたが世界同時不況で減少している。
- コンテナ取扱個数は毎年約10%程度伸びており、平成22年は約22万TEUである。



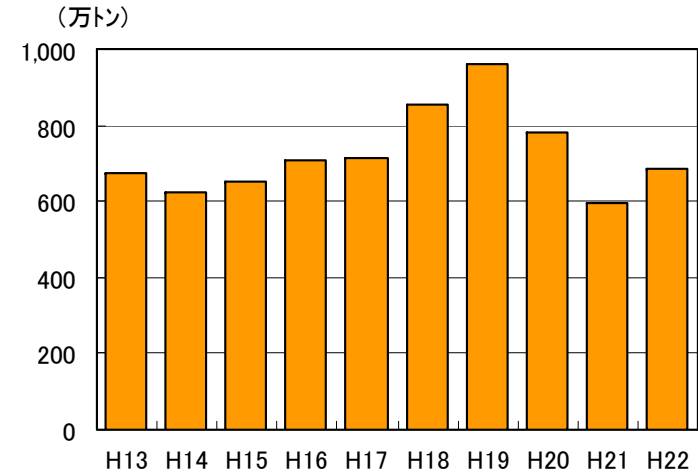
### 品目別構成



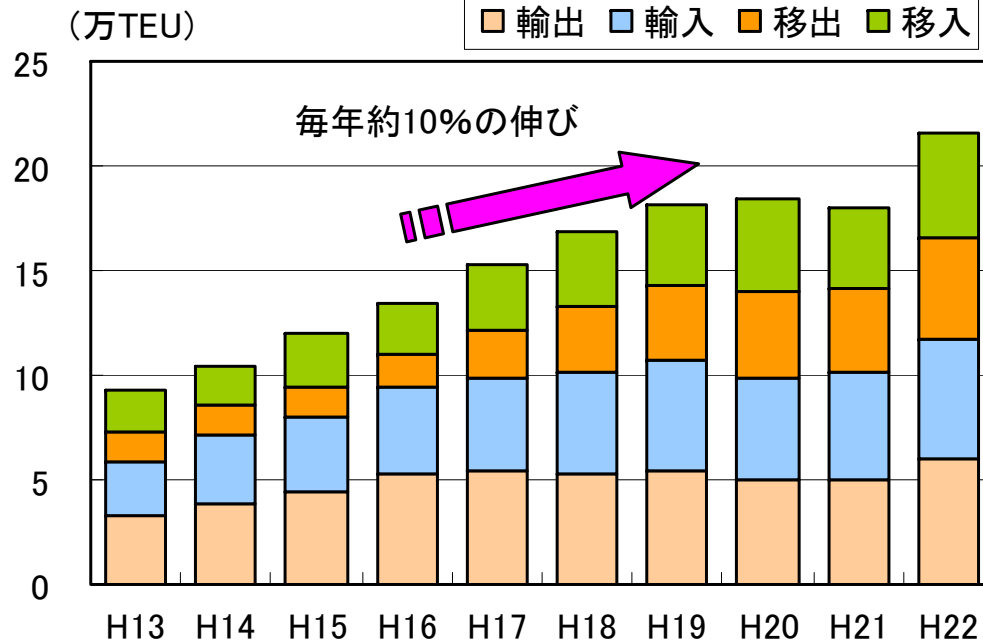
### 取扱貨物量の推移 (仙台港区)



### 完成自動車取扱量 (仙台港区)



### 外貿コンテナ取扱個数の推移 (仙台港区)



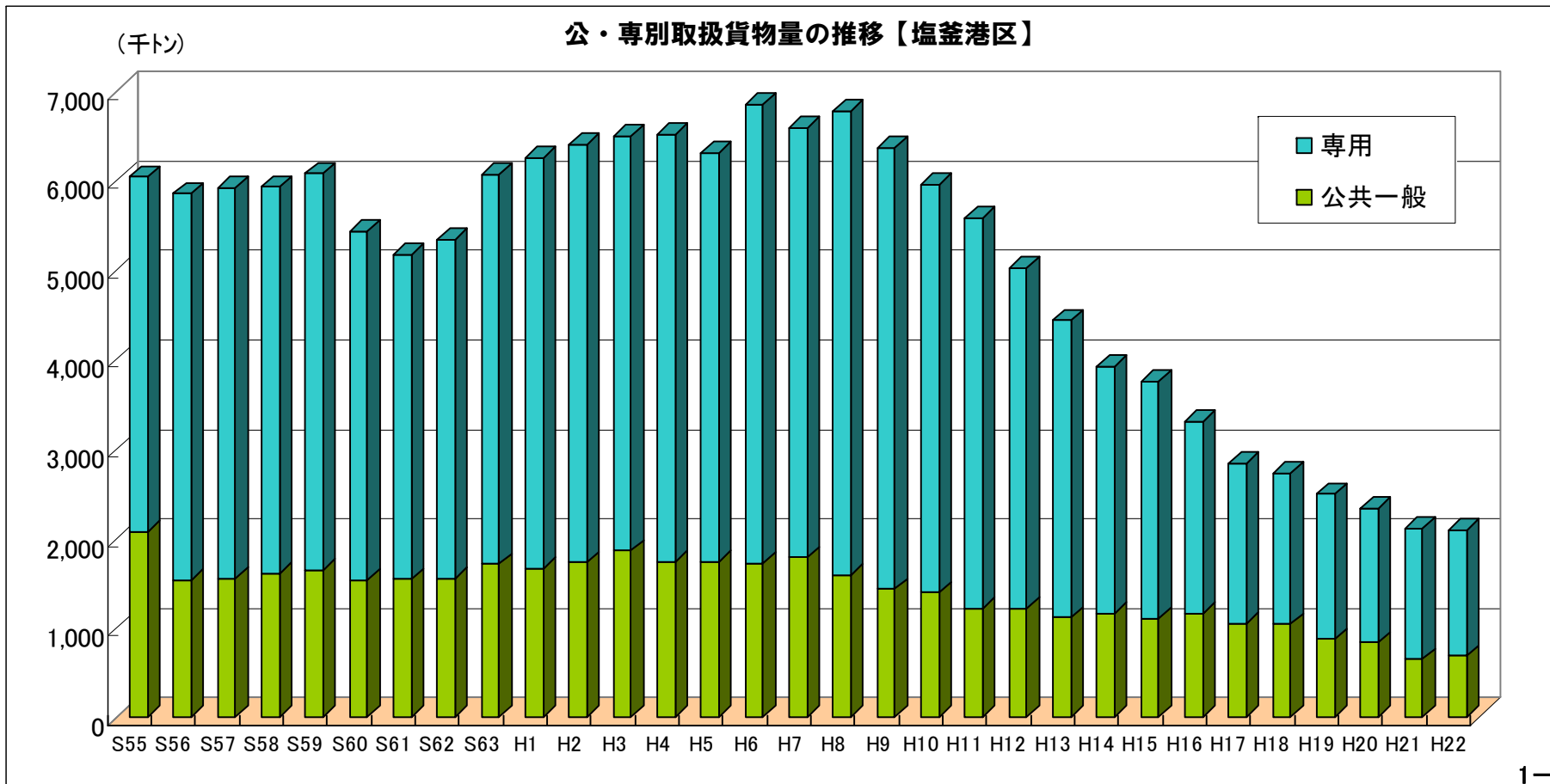
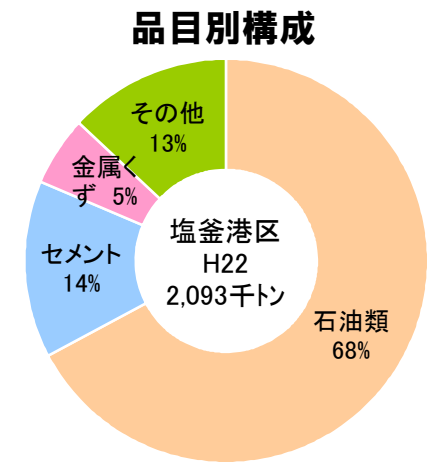
内航フィーダー 14便/週  
京浜港～仙台塩釜港～各港

外貿コンテナ航路 5便/週  
・北米西岸・東南アジア 1便/週  
・東南アジア 1便/週  
・中国・韓国 3便/週

注: 平成22年12月現在

## ◆仙台塩釜港：塩釜港区

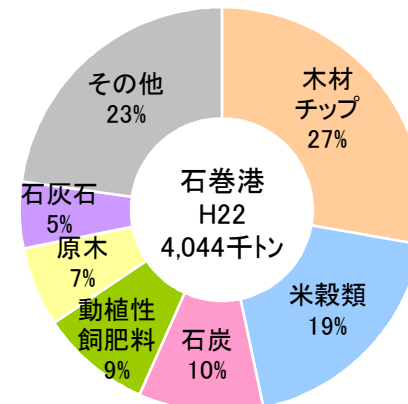
- 石油の取扱量や仙台火力発電所の石炭から天然ガスへの燃料のシフトによる石炭取扱量の減少によって、近年の貨物量は減少傾向にあり、平成22年は209千トンとなっている。
- 主要品目は石油類・セメント・金属くずで、全体の約9割を占めている。



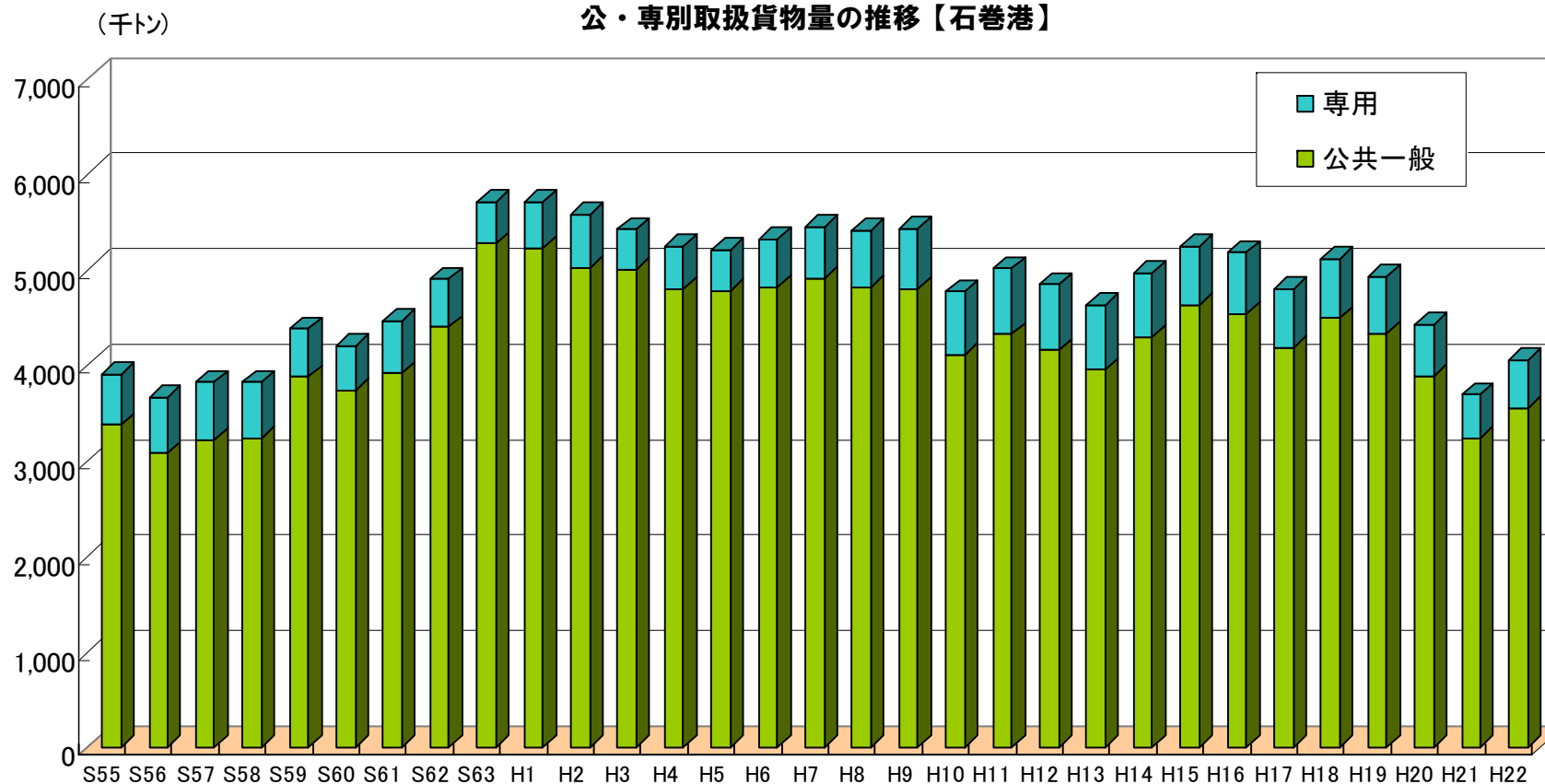
## ◆石巻港

- 取扱貨物量は平成元年の570万トン进行ピークに減少し、平成22年は404万トンとなっている。
- 主要品目は木材チップ・米穀類・石炭・動植物性製造飼肥料・原木で、全体の約7割を占めている。

## 品目別構成



公・専別取扱貨物量の推移【石巻港】

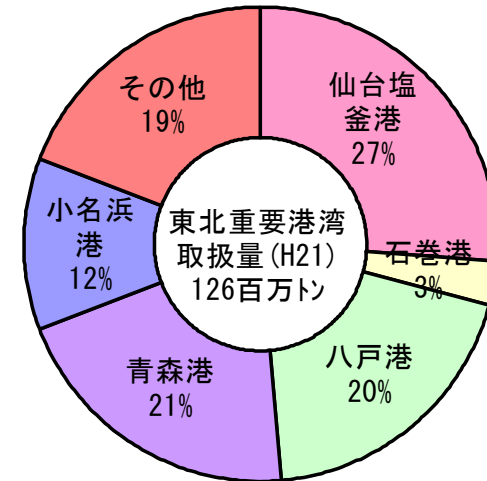


## (2) 東北他港との比較

### ◇総貨物量

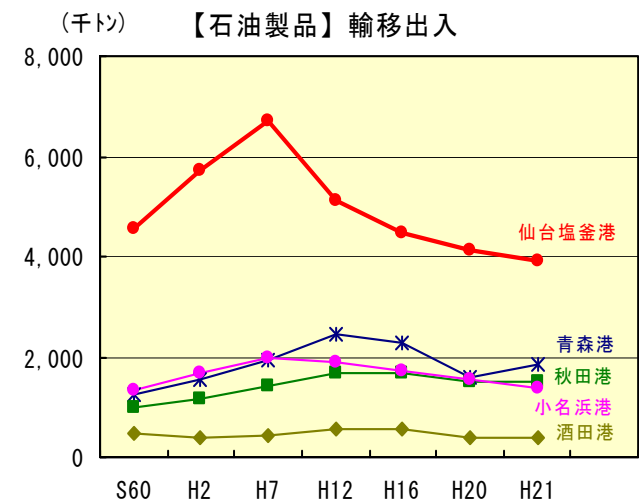
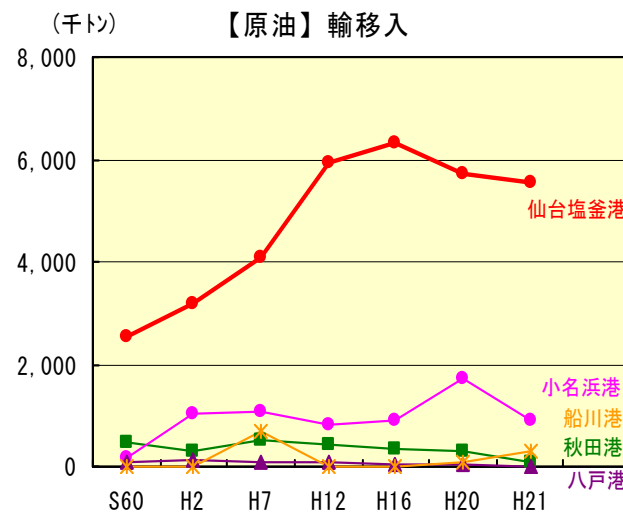
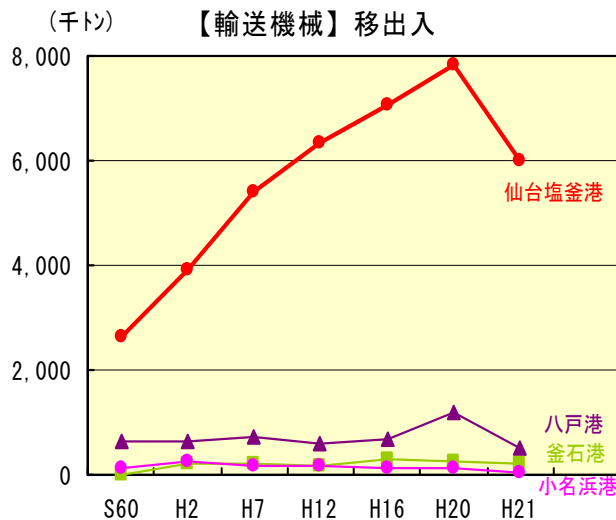
- 東北港湾の中では仙台塩釜港の取扱量が最も多く、東北全体の27%を占めている。
- 仙台塩釜港の完成自動車の取扱量は東北の中で90%弱と突出しており、背後の自動車産業の積み出し基地、背後地への自動車供給基地となっている。
- また、原油や石油製品も多く取り扱っており、エネルギー供給基地にもなっている。

東北港湾取扱貨物の港湾別シェア



資料: 港湾統計年報

### 港湾別主要品目の推移

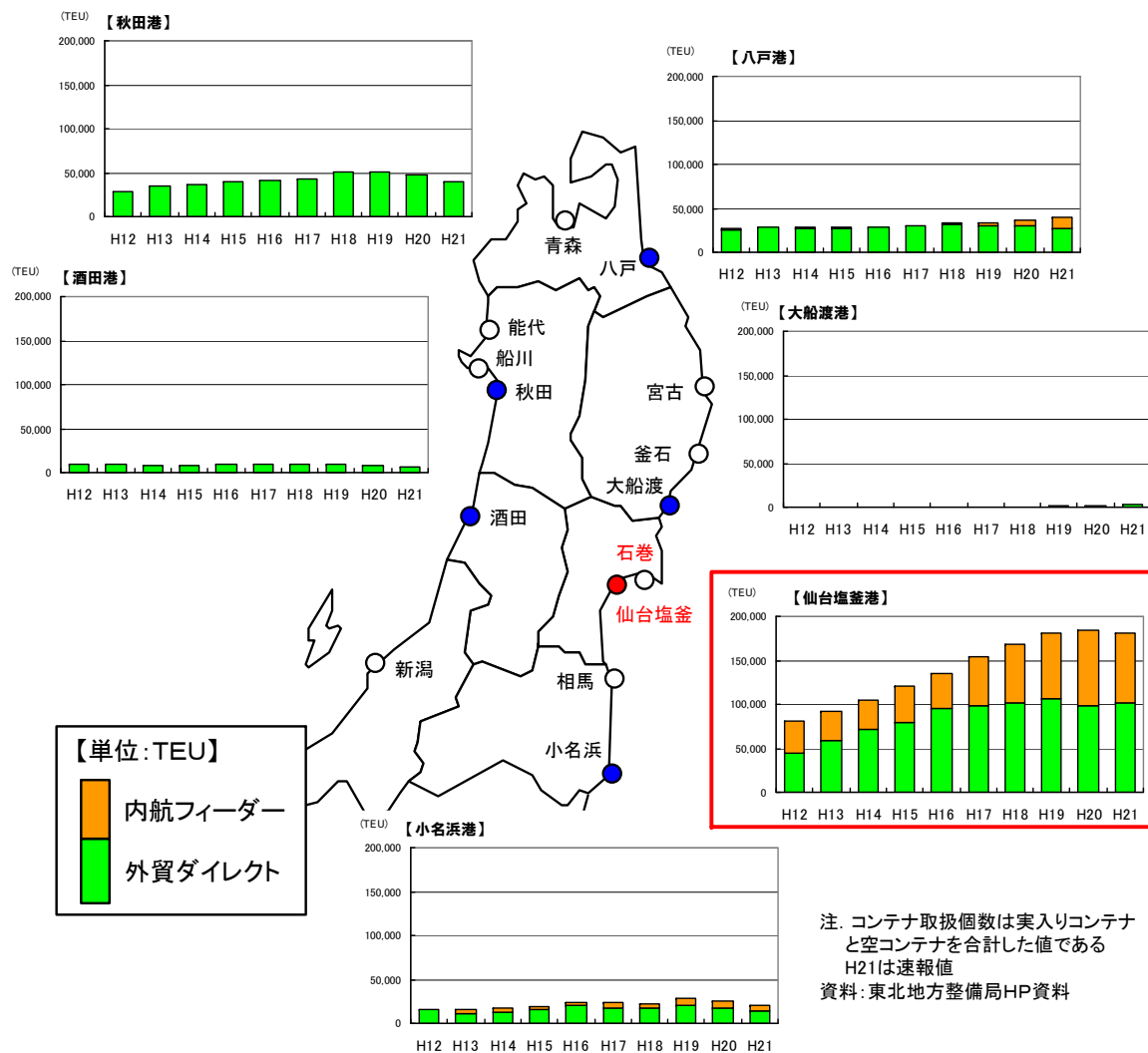




## ◇外貿コンテナ貨物

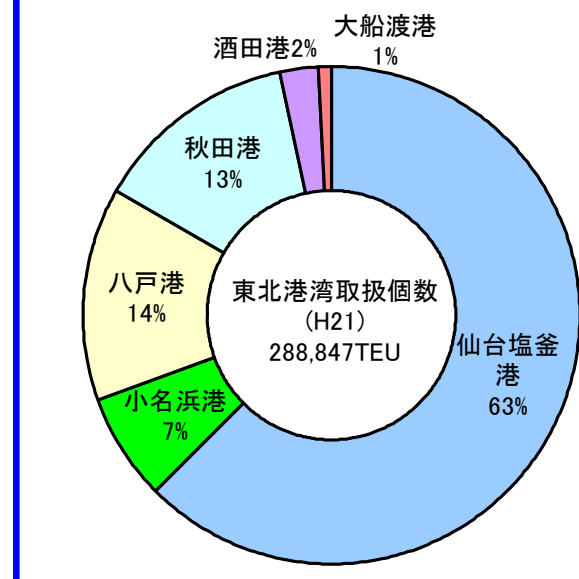
- 東北6港の外貿コンテナ取扱個数のうち、仙台塩釜港は全体の63%(H21)を占めている。
- 仙台塩釜港取扱個数のうち、44%は内航フィーダー貨物である。
- 近年、仙台塩釜港の取扱個数の増加が顕著である。(H16:95千TEU⇒H21:102千TEU)

### ◆仙台塩釜港（仙台港区・塩釜港区）



注. コンテナ取扱個数は実入りコンテナと空コンテナを合計した値である  
H21は速報値  
資料:東北地方整備局HP資料

### 東北港湾取扱個数における各港シェア



## ◇バルク貨物

- 製紙関連産業の原料である木材チップの輸入量は、東北の取扱量のうち八戸港が50%、次いで石巻港が38%を取り扱っている。
- また、配合飼料工場の集約化により原料であるとうもろこしの輸入量も、八戸港が68%、次いで石巻港が23%を取り扱っている。

### バルク貨物の港湾別貨物量の推移

